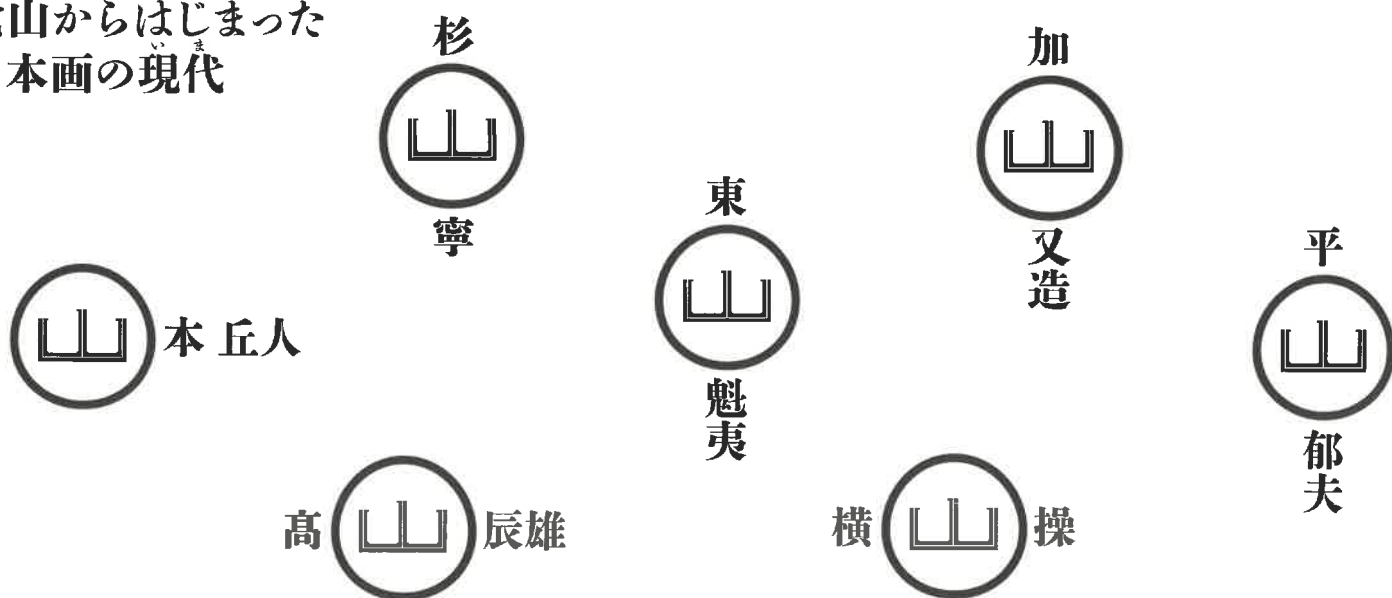




平山郁夫《オリエントの曙》1971年 箱根・芦ノ湖 成川美術館

七山からはじまった
日本画の現代



nihongasanmyaku.com

NIHONGA
SANMYAKU

日本画山脈

再生と革新～逆襲の最前線

2017年10月15日(日)～11月26日(日)

※11月6日(月)に一部展示替えを行います。

八幡浜市民ギャラリー

休館日：月曜日／開館時間：10時～18時

主催：八幡浜市、八幡浜市教育委員会、日本画山脈展実行委員会

共催：愛媛新聞社／特別協賛：ヤマトロジスティクス、備北信用金庫

助成：一般財団法人 地域創造／後援：愛媛県、愛媛県教育委員会、八幡浜市文化協会、NHK松山放送局
南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、八幡浜新聞社、八西CATV

〒796-0066 愛媛県八幡浜市本町1 八幡浜市立市民図書館3階、2階
TEL(0894)22-0917 http://www.city.yawatahama.ehime.jp/



脈のように連綿と織り成す日本画の伝統と革新

文明開化を迎えた明治期、西欧から移入された「西洋の絵画」に対して、我が国の伝統的な絵画表現を受け継ぐものとして、「日本画」という言葉が生まれました。時代のうねりの中で日本画家たちは互いに関係し合い、伝統的な技法や独自の美意識を受け継ぎ、あるいは西洋絵画の影響も受けながら常に新しい日本画の創造を模索してきました。太平洋戦争を経て、社会構造や価値観の大きな変革の中で、危機的な状況に晒されながらも新しい日本画の模索は続き、現在に至っても時代に即した新しい表現、次世代へと続く新しい日本画の創造をめざし多彩な挑戦が続けられています。本展では、「戦後日本画の再生」に挑んだ七人の巨山を中心に、戦後の流れを受けて花開いた現在の巨匠たちの「不動の日本画表現」、そして具象の系統に連なる新世代の作家たちの「越境する表現」を通し、戦後から現在まで続く日本画壇の流れを俯瞰するとともに、日本画表現の現在地点を紹介します。伝統と革新が山脈のように連綿と織り成す日本画の系譜。この機会にどうぞ堪能ください。

第1章
「七山」に見る「戦後日本画の再生」
山本丘人／東山魁夷／杉山寧／高山辰雄
横山操／加山又造／平山郁夫

第2章
現代の巨匠たちによる「不動の日本画表現」
下田義寛／滝沢具幸／田淵俊夫／竹内浩一
平松礼二／中島千波／土屋禮一／村居正之
宮廻正明／西田俊英

第3章
新世代日本画の「逆襲」—越境する表現
平山英樹／森山知己／岡村桂三郎／間島秀徳
新恵美佐子／加藤良造／マツダジュンイチ／神戸智行
高島圭史／梶岡百江／岩田杜平／田中武



東山魁夷《道(試作)》1950年
市川市東山魁夷記念館
展示期間10月15日-11月5日



高山辰雄《少女》1979年



山本丘人《夕焼け山水》1961年
公益財団法人平木浮世絵財団
展示期間10月15日-11月5日



岩田杜平《花泥棒》2008年 倉吉博物館



加山又造《駱駝と人》1957年
福井県立美術館
展示期間11月7日-11月26日



竹内浩一《誘惑》2007年 作家蔵



平松礼二《モネの池・秋彩》
2015年 作家蔵



神戸智行《いつもの場所で》2016年 作家蔵

オープニング・舞楽「陵王」
10月15日(日) 9:30～ ※20分程度
舞人：清家貞文氏(八幡神社禰宜) 会場：3階ロビー
中国の故事に由来する舞楽「陵王」。華やかな朱色の装束に身を包み、頭に龍をいたいた舞臺な面をつけ勇ましく舞う演目です。本展出品作品「陵王11-1」(岡村桂三郎)にちなみ舞っていただきます

オープニング・スペシャルトーク
10月15日(日) 10:00～ ※80分程度
講師：野地耕一郎氏(泉屋博古館 館長)
岡村桂三郎氏(日本画家)
会場：3階展示室

アーティストトーク
10月22日(日) 11:00～ ※60分程度
講師：森山知己氏(日本画家)
会場：3階展示室

学芸員による展示解説
10月28日(土)、11月5日(日)、11日(土)、25日(土)
14:00～ ※40分程度
会場：3階展示室

「平山郁夫と玄奘三蔵」「海女の珠とり」他
10月28日(土)、11月11日(土) 13:30～ ※各回30分程度
講師：読み聞かせボランティアグループ《あいうえおはなし会》の皆さん
会場：3階ロビー ※観覧料・事前申込不要

「水墨画にチャレンジ！」
10月22日(日) 14:00～ ※2時間程度
講師：森山知己氏(日本画家)
対象：小学3年生～中学生 15名程度 会場：2階視聴覚室
用意するもの：墨、硯、筆(大筆、小筆)、毛せん、水入れ、汚れても良い服装
※先着順：受付開始9月1日(金) ※参加費無料・要事前申込

入場料

一般	700(600)円
シニア[75歳以上]	600(500)円
高校生	300(250)円
小中学生	200(150)円

※()内は前売り・10名以上の団体 ※市内小中学生は無料
※障がい者手帳を持っている人と介助者1人は300円
(障がい者手帳をご提示ください)
[前売り券販売所]
八幡浜市文化会館、八幡浜みなと みなと交流館、
明屋書店八幡浜店・大洲店、フジグラン北浜・大洲・北宇和島店
オスマッセ21 Aコープおおす、宇和文化会館、愛媛新聞旅行
愛媛新聞社の県内支店・エリアサービス(取り寄せ)、いよて高島屋 他



[交通のご案内]
・八幡浜港より、徒歩で約15分・車で約5分
・大洲南インターより、車で約30分
・三崎港より、車で約40分
・JR八幡浜駅より、徒歩で約20分、車で約8分
バスで約5分、宇和島バス「本町」
または伊予鉄南予バス「新町銀座」下車

〒796-0066 愛媛県八幡浜市本町1 八幡浜市市民図書館3階、2階
TEL(0894)22-0917 <http://www.city.yawahama.ehime.jp/>
お問合せ：八幡浜市教育委員会生涯学習課文化振興係 〒796-0202
愛媛県八幡浜市保内町宮内1-118 TEL:0894-22-3111

八幡浜市民ギャラリー | 郷土資料室